

学校だより

12月号

港区立白金小学校

発行人 加納 一好

平成三十年十一月三十日



みんなが笑顔の学校に

校長 加納 一好

学芸会には多くの皆様のご来校ありがとうございました。子供たちは緊張しながらも頑張りと、一年生は元気よく、六年生は役になりきるなど、学年にあった演技や歌を立派に表現しました。様々な準備、また、制約ある中での観覧等、ご理解とご協力に感謝いたします。そして、受付や会場案内でお手伝いくださったPTA役員の皆様、ありがとうございます。

さて、国連では十一月十日を人権デーに、人権デーを最終日としたその前の一週間を人権週間と定めています。本校でも道徳の授業を中心に教育活動全体を通して、「命を大切にすること」「みんなと仲良くすること」といった人権教育を進めています。そのための手立ての一つとして、十一月の「ふれあい月間」に合わせ各学級で「ふれあい標語」を考えました。いくつか紹介します。

「心をつないでたすけあおう」一年一組

「やさしい心と思いやりでハッピーモードをONにしよう」二年一組

「ふわふわことばをかけ 思いやるクラス」三年一組

「いじめなし けんかなし 正しい心を見つけよう」四年一組

「いじめNO 泣く子NO けんかNO 言葉も考え

楽しい学校生活」五年一組

「声を出す勇氣 声を聞く優しさ 目指すは みんなが笑顔のBig Smile 白金小」六年一組

どれも素晴らしい標語です。この標語の通りに行動できれば、誰もが笑顔の温かな学級、学校になることでしょ。子供たちには「標語を考えるだけでなく、この標語の通りに行動することが大切です。」と話しました。全校朝会でどれくらい達成できたかきいてみたいと思います。

インフルエンザが流行してきました。昨年度、本校は学級閉鎖がありませんでした。今年度も学級閉鎖ゼロを目指し、子供たちの健康管理、環境整備に努めてまいります。

十二月も防災教室、保護者会、もちつきとありますが、どうぞよろしく願っています。

白金クラブ

代表 藤原 裕弘

三年生から六年生を対象にした、楽しく体を動かす陸上クラブです。約五十人の児童が国際陸連、日本陸連の指導資格を持つコーチの指導を受けながら、放課後の時間を使って活動しています。走る、跳ぶ、投げの基本的な運動を通して総合的な体力向上を目指しています。練習の最後にはリレーやドッジボールなどの時間もあり、生き生きと運動します。

また、休日に開催される陸上競技会にも参加しています。今年度は八回の大会に出場し、全日本陸上競技会第五位等、延べ二十八名が入賞、東京都の強化選手に四人が選ばれています。

これまで陸上の経験がなくても、楽しく参加出来ますので、ぜひ一度体験にいらしてみてください。

白金ドリームス

代表 尾形 真樹子

三年生から六年生の二十八名で活動をしているミニバスケットボールチームです。角井先生・外部コーチにご指導いただき、火曜日・木曜日の朝七時三十分から八時十五分、月数回の水曜日・土曜日に白金小学校の体育館で練習をしています。

基礎体力と技術の向上、目標に向かって一生懸命努力することやチームワークを学んでいます。

二月と七月に開催される港区小学生バスケットボール大会に参加しており、他チームとの練習試合も行っています。

一緒にバスケットボールをしてみませんか。見学・体験も随時受け付けております。新しい仲間をお待ちしております。

プラチナタイムについて

特別活動部 今野 希洋

プラチナタイムでは、一年生から六年生までの縦割り班を構成し、月一、二回、昼休みに「交流遊び」や、年間二回の「交流給食」を行っています。

今年度は、昨年度に引き続き、七月十八日に縦割り班で「校内オリエンテリング」を行いました。それぞれの班で考えたゲームなどのクリアを目指して、校舎中を班で協力して回りました。みんなが考えたゲームはとても楽しく、どの班も盛り上がり上がっていました。

「交流遊び」では、各月の遊びの計画から当日の運営まで、全て六年生が行っています。上級生も下級生も楽しめるような遊びを毎回工夫して考えています。上級生は下級生にルールを教えたり声をかけたり、下級生もみんなが楽しく遊べるように上級生に協力したりといった姿が見られます。

「交流給食」では、班で協力して配膳し、食事とともにすることで、より深く親しく交流できるようにします。お世話になった六年生と新しい出をつくる「お別れ給食」では、来年度の準備として五年生が中心となって計画・運営をします。

同じ学年の友達との関わりだけでなく、異学年集団で協力しながら活動を楽しみ、交流を深めることを通して、尊敬、感謝、思いやりの心の育成を目指します。今後も異学年で交流する機会を充実させていきたいと考えています。

